

第2回厚木市複合施設等整備検討委員会 会議録

会議主管課	市街地整備課
会議開催日時	平成31年1月8日（火） 午後3時30分から5時10分
会議開催場所	アミューあつぎ7階 ミュージックルーム2
出席者	委員 22人 （欠席：棗委員、大内委員） 事務局 13人 都市整備部市街地整備担当部長、政策部長、企画政策課長、 企画政策係長、青少年課長、青少年施設係長、 市街地整備課中町第2-2地区整備担当課長、同係長、 同主査、同主査、同技師、同主事、中央図書館長
説明者	市街地整備課中町第2-2地区整備係長、同技師、同主査
傍聴者	あり（5人）
公開日	平成31年1月21日

会議内容は、次のとおりです。

1 開会

委員長	ただ今から第2回厚木市複合施設等整備検討委員会を開催します。
-----	--------------------------------

2 案件

委員長	案件(1)から(5)について一括して説明をお願いします。
事務局	案件(1)から(5)について説明。

- (1) 第1回複合施設等整備検討委員会開催概要について
質疑なし
- (2) （仮称）複合施設等整備基本計画の構成（案）について
質疑なし
- (3) 複合施設の主要施設の現状と課題、目指す姿について
質疑なし
- (4) 複合施設の整備コンセプト（案）について

委員	新たな複合施設は、これからの厚木のシンボルになると思うが、完成が7~8年後となるので、10年後、20年後の社会の変化を想定しておかなければ、完成した時点で時代遅れのものになってしまう。AIやIoTも将来必ず必要になる。人口減少社会の中で、省エネ
----	--

事務局	<p>ルギー化や維持管理費の圧縮など、社会の変化に対するモデルにしていくという視点が足りないのではないか。現状に対する対策だけでなく、将来に対する対策も必要だろう。</p> <p>厚木市の人口推計では、2060年でも19万人の人口は維持できるという結果になっている。新庁舎整備基本構想には、新庁舎を将来変化に柔軟に対応できる施設としていく考え方を記載している。人口減少社会に対応するための考え方については、複合施設の基本計画（案）にも位置付けていく。</p>
委員 事務局	<p>どのような施設を目指すのか、目標を持って整備していくべきだろう。前回の会議で、日本にないような複合施設になるという話だったが、目標があれば議論がスムーズに進むと思う。</p> <p>そのとおりであると考えている。複合施設を目指す目標として、今回の資料で「整備コンセプト（案）」を提示させていただいた。具体的には、図書館や（仮称）こども未来館、市庁舎をそれぞれ別の施設として整備するのではなく、互いに関係し合うことによる相乗効果を生み出していく施設としていきたいという考え方を出させていただいた。</p>
委員 事務局	<p>寒川町、海老名市、大和市の図書館を視察してきた。大和市の図書館は非常に人気がある施設であると感じた。新たな図書館は、大和市の図書館のように、指定管理者制度の導入を考えているのか。</p> <p>図書館の運営については、平成23年度以降、業務の委託化を進めているところである。図書館の指定管理者制度の導入については、平成23年度に図書館協議会に諮問し、答申を得ている。答申の内容は、指定管理者制度の導入を決定するには時期尚早であり、今後研究するとともに、図書館計画等を立案されたいというものであった。これから整備する新中央図書館は、（仮称）こども未来館と一体となった全国に例のない図書館にしていきたい。図書館と（仮称）こども未来館が一体となれば、市民の皆様にとどのようなサービスを提供することができるのかを検討した上で、そのサービスを提供するために必要な運営方法を考えていきたい。管理運営に関する考え方についても、これから策定する基本計画（案）に位置付けていく。</p>
委員 事務局	<p>資料のp7「中心市街地の全体構想」で回遊性を掲げているのであれば、資料p9の図面は、一番街や本厚木駅北口周辺部についても考えるべきではないか。厚木市は昼間人口が多いので、働きに来ている人が仕事後にそのまま帰ってしまうのではなく、その人たちにとってのサードプレイスとなるものができるとういと思う。</p> <p>「中心市街地の全体基本構想」では、中町第2-2地区よりも広い範囲の本厚木駅を中心とした中心市街地全体の考え方を示すものである。「中心市街地の全体構想」を踏まえ、複合施設を訪れる人たちが中心市街地を回遊できるような考え方についても、基本計画</p>

	(案) に示していきたい。
委員	複合施設がサードプレイスとしての拠点性が高まりすぎると、かえって周辺への回遊性が失われる可能性があるということに注意する必要があるだろう。
事務局	回遊性という面では、現本庁舎敷地の活用方法についても基本計画(案) に示していく。複合施設の建設予定地だけでなく、現本庁舎敷地も活用しながら、まち全体の回遊性や「歩いて楽しいまち」のコンセプトを実現していきたいと考えている。
委員	図書館や子ども科学館が移転した後の厚木シティプラザは売却するのか。
事務局	床面積の9割程度は市が所有しているが、複数の権利者の方がいるので、権利者の皆様と協議しながら厚木シティプラザの在り方を検討していきたい。
委員	厚木シティプラザと併せて厚木バスセンターの再整備は考えていないのか。
事務局	厚木バスセンターについては、路線バス待ちの人と歩行者の錯綜などの多くの課題があるので、再整備していく必要があると考えている。
委員	難しいことは承知の上だが、厚木バスセンターや厚木シティプラザがある場所に複合施設を配置できるとよいと思う。
事務局	かつて検討した経緯はあるが、厚木シティプラザや厚木バスセンターが運営している中で、そこに新しい建物を建てるということは、難しいと考えている。
委員	建設予定地の中には避難場所になっている部分が含まれていると思うが、避難場所に建物を建築することができるのか。
事務局	現在は、保健福祉センターや中町立体駐車場の周辺敷地を一団地認定の設定をしているため、保健福祉センターの避難場所が必要となっている。複合施設の整備に当たり、一団地認定の設定を解除していくことを考えている。一団地認定の設定が解除されれば、建物を建設することは可能になると考えている。
委員	整備コンセプト(案) は、複合施設の内側に対する考え方しか言及していない。建物の内側だけでなく、周辺に与える影響についても考慮していく必要がある。
事務局	中町第2-2地区周辺の既存施設との連携についても、整備コンセプトに位置付けていきたい。

(5) 複合施設のフロア構成イメージ(案) について

委員	複合施設には図書館、(仮称) こども未来館、市庁舎以外に新しい施設が入るのか。また、厚木シティプラザはどうするのか。
事務局	図書館、(仮称) こども未来館、市庁舎の3つの施設を基本として、

	<p>消防本部や国県施設との一体整備を目指していく考えである。厚木シティプラザについては、厚木市以外にも複数の権利者の方がいるので、権利者の皆様と協議しながら厚木シティプラザの在り方を検討していきたい。</p>
委員	<p>低層部のゾーニングを検討するに当たっては、複合施設が何を重視していくかを決定する必要があるのではないかと。たとえば、今後の高齢化の加速を考慮し、高齢者の居場所として図書館の充実を重視していくのであれば、もっとゆったりとした閲覧スペースが必要になり、資料 p12 のABC案では、どれも図書館としての面積が足りないということにならないか。</p>
事務局	<p>本日の会議資料では、各施設の面積まで示していないが、現在、担当部署で検討しているところでは、図書館や（仮称）こども未来館は、現在よりも広い面積を想定している。資料 p12 のゾーニングは、現在の図書館や子ども科学館が抱える狭あい化の課題を解決することができる規模であると考えられたい。</p>
委員	<p>図書館に来ない理由として、インターネットで調べられることが多くなっているという理由があると思う。新しい図書館では、インターネットでは調べられないことを提示するなど、人を来させるような仕組みを考えているか。</p>
事務局	<p>近年の図書館は、本の貸出・返却だけの施設ではなく、ゆったりとした時間を過ごすための滞在型の施設を目指していく考え方が主流になっている。現在の図書館の閲覧席は 120 席程度しかないが、新たに整備する図書館の閲覧席の規模についても、次回以降の会議で示していきたい。</p>
委員	<p>本厚木駅東口の交差点は今以上に多くの人を通ることになると思う。本厚木駅からペDESTリアンデッキを伸ばし、歩行者が交差点を通らないようにするなどの対策が必要ではないか。また、地下道から複合施設へのアクセスについても考える必要がある。厚木バスセンターも複合施設と併せて一体的に整備していくべきではないか。厚木バスセンターは、バスタ新宿のように建物内部に発着場を作り、本厚木駅と厚木バスセンターと複合施設が渡り廊下でつながれるような整備ができれば、庁舎窓口は2階でもよいのではないかと。</p>
事務局	<p>担当部署内でかつて検討した経緯はあるが、厚木シティプラザや厚木バスセンターが運営している状況で、複合施設と厚木バスセンターを同時に整備することは、難しいと考えている。また、バスタ新宿のように建物内部にバスの発着場を整備していくには、高低差を解決するための十分な敷地が必要であり、現在の敷地面積では難しいと考えている。</p>

委員長 事務局	案件(6)から(7)について一括して説明をお願いします。 案件(6)から(7)について説明。
------------	---

(6) 厚木バスセンターの再整備の考え方（案）について

委員 事務局	中町大型バス発着場は、再整備の検討対象ではないのか。 中町大型バス発着場は、旧保健センター跡地の今後の活用に向けた暫定的な整備ではあるが、厚木バスセンターの再整備と併せて中町大型バス発着場を再整備することは現在のところ考えていない。
委員 事務局	厚木バスセンターの再整備の考え方として、安全な歩行者空間の確保を前提に考えてもらいたい。自家用車で来る利用者も多いと思うので、渋滞対策もしっかりと講じなければならない。 現在の厚木バスセンターの課題として、路線バスと歩行者の錯綜を掲げており、それらの課題を解決するために再整備が必要であると考えている。また、渋滞対策についても、第8次厚木市道路整備3箇年計画に基づいて、中町第2-2地区の周辺道路の整備を進めていきたい。
委員 事務局	なかちょう大通り（県道本厚木停車場線）で路線バスの乗降ができれば、厚木バスセンターは必要ないのではないかと。公共交通の利便性を上げ、自家用車の利用を制限していく考え方があってもよいのではないかと。 現在の厚木バスセンターの課題として、乗降場所の不足や路線バスの待機場所の不足が挙げられることから、厚木バスセンターの再整備は必要であると考えている。また、自家用車の利用制限については、複合施設への交通だけでなく、本厚木駅周辺の全体的な交通状況を考える必要があると考えている。
委員 事務局	森の里方面から来る場合、路線バスを利用することもあるが、駐車料金と運賃を比較すると自家用車を使うことが多い。駐車場を増やせば利用しやすくなると思うが、どれくらいの規模の駐車場を整備する予定なのか。 現在では、新庁舎に必要な駐車場は、来庁者用と公用を併せて280台程度と見込んでいる。図書館や（仮称）こども未来館を含めた複合施設全体に必要な駐車場の台数については、現在検討しているところである。

(7) 複合施設等の整備に関する市民アンケート調査（案）について

委員	資料 p15 の「サードプレイス」とはどのようなものか。カフェなどをイメージすればよいのか。中町第2-2地区の周辺施設はそのまま、複合施設の整備をするだけでサードプレイスを目指すというのには違和感がある。近年の新しい建物にはカフェや食堂等があるのは珍しいものではない。新たに整備する複合施設と既存施設を
----	---

事務局	<p>有機的に結び付けていく考えが必要だろう。</p> <p>複合施設の整備だけでサードプレイスが実現できるとは考えていない。複合施設を含めた中町第2-2地区周辺全体で人々の居場所となるようなサードプレイスにしていきたいという考え方である。その内容が分かるようにアンケートで送付する資料には修正を加える。また、既存施設と複合施設の連携の考え方については、引き続き委員の皆様を始め、市民の皆様からの意見を聴きながら考えていきたい。</p>
委員	<p>資料p19アンケートのQ5は、図書館、(仮称)こども未来館、庁舎以外にも別の施設が複合施設に加わることができる余地があるということか。</p>
事務局	<p>3つの施設以外にも交流機能として、複合施設の中に広場などを整備していく考えを持っている。アンケートに記載している選択肢が想定している交流機能の全てを網羅しているわけではない。市民の皆様が必要としている機能を複合施設の中に整備していきたい。</p>
委員	<p>図書館と科学館の融合は新しい考えだと思う。子どもたちには本を通じて知識、感性、想像力を養ってほしい。閲覧席や蔵書数を用意すればコンセプトを叶えることができるわけではないと思う。どのようにすればその感性を養っていくことができるか、ソフト面での仕掛けが必要になる。</p>
事務局	<p>御提案のとおりであると考えている。整備後の運営までを考慮した上で、建物の在り方を考えていきたい。なお、厚木市では、子ども読書活動推進計画を策定している。乳幼児期から本の読み聞かせを通じて、読む力を育てていくことが重要と考えており、今後も子どもたちが本に親しめる取組を継続していく。</p>
委員	<p>資料p19アンケートQ6の選択肢②は、「それぞれの利用者が干渉しないよう」というのは、再考したほうがよいのではないかと。</p>
事務局	<p>もう少し理解しやすいような表現に再考する。</p>

3 その他

委員長	その他について説明をお願いします。
事務局	その他について説明。

(1) 市民の皆様との検討状況について
質疑なし

(2) 次回開催日程について
2月4日から6日ころで調整予定であることを報告

4 閉会